

# 熊野川堆積土砂除去の取り組み状況

資料-1【河川部】

## 除去スケジュール

区間		除去全体予定量 (万m <sup>3</sup> )	H23	H24	H25	H26	H27	H28～
①河口～相賀	熊野川	400	[Red bar]					
	熊野川	17	[Red bar]					
①相賀～宮井	支川	11	[Red bar]					
	※河川管理者等が連携してさらなる堆積土砂の除去及び民間による砂利採取を調整中。							
②宮井～二津野ダム	熊野川	145	[Red bar]					
	支川	8	[Red bar]					
③二津野ダム上流	熊野川	173	[Red bar]					
	支川	39	[Red bar]					
④宮井～小森ダム	北山川	—	[Red bar]					
	支川	1	[Red bar]					
⑤小森ダム上流	北山川	9	[Red bar]					
	支川	4	[Red bar]					

(ダム管理区間は除く)

※ ①の区間以外においても各県独自に民間による砂利採取の適用について実施もしくは調整が進められている区間がある。  
 ※ 除去予定量は現時点での値であり、変動する可能性がある。

# 熊野川堆積土砂除去の取り組み状況

H27.3月時点

凡例

区間名

本川 除去予定量

(H26年度末迄除去量)

支川 除去予定量

(H26年度末迄除去量)

区間③

熊野川 173 万m<sup>3</sup>

(173 万m<sup>3</sup>)

支川 39 万m<sup>3</sup>

(39 万m<sup>3</sup>)

区間②

熊野川 145 万m<sup>3</sup>

(90.3万m<sup>3</sup>)

支川 8 万m<sup>3</sup>

(8 万m<sup>3</sup>)

区間⑤

北山川 9 万m<sup>3</sup>

(9 万m<sup>3</sup>)

支川 4 万m<sup>3</sup>

(2.9万m<sup>3</sup>)

区間④

北山川 — 万m<sup>3</sup>

支川 1.2 万m<sup>3</sup>

(1.2 万m<sup>3</sup>)

区間①

熊野川 17 万m<sup>3</sup>

(7.8万m<sup>3</sup>)

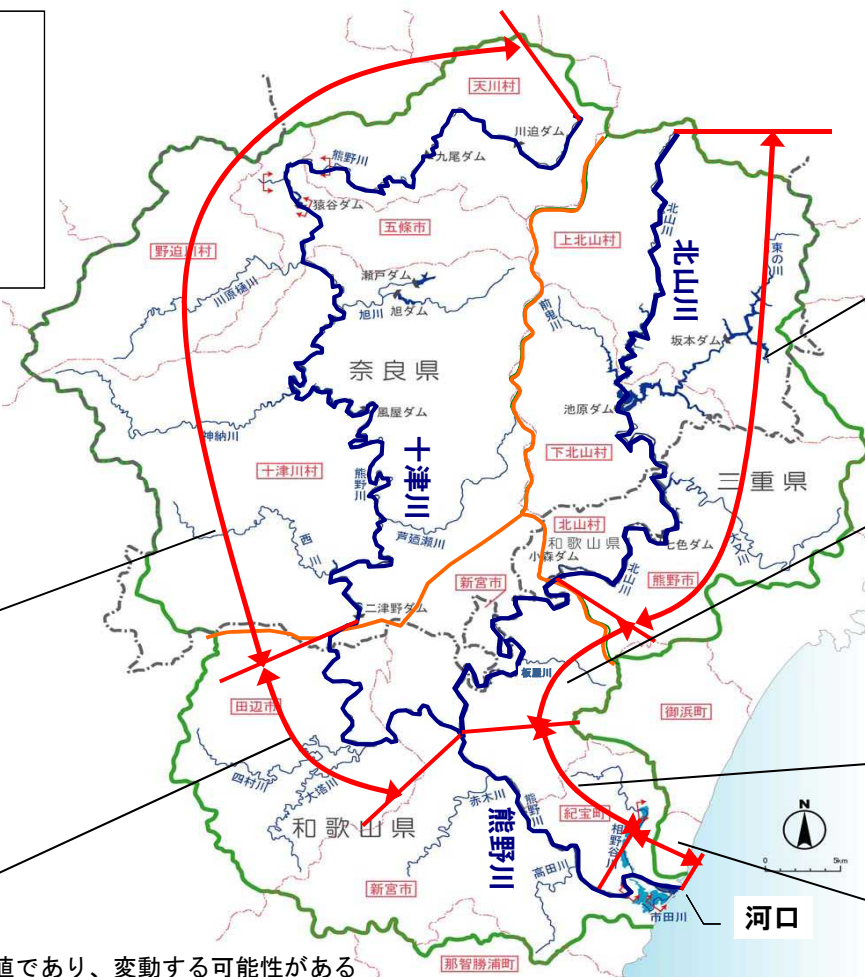
支川 11 万m<sup>3</sup>

(9.3万m<sup>3</sup>)

区間①

熊野川 400 万m<sup>3</sup>

(135.6万m<sup>3</sup>)



(ダム管理区間は除く)

※ 除去予定量は現時点での値であり、変動する可能性がある

# 熊野川(直轄上流端～北山川合流点)における堆積土砂の対応状況



H27.3月時点

# 激特事業等の実施状況について

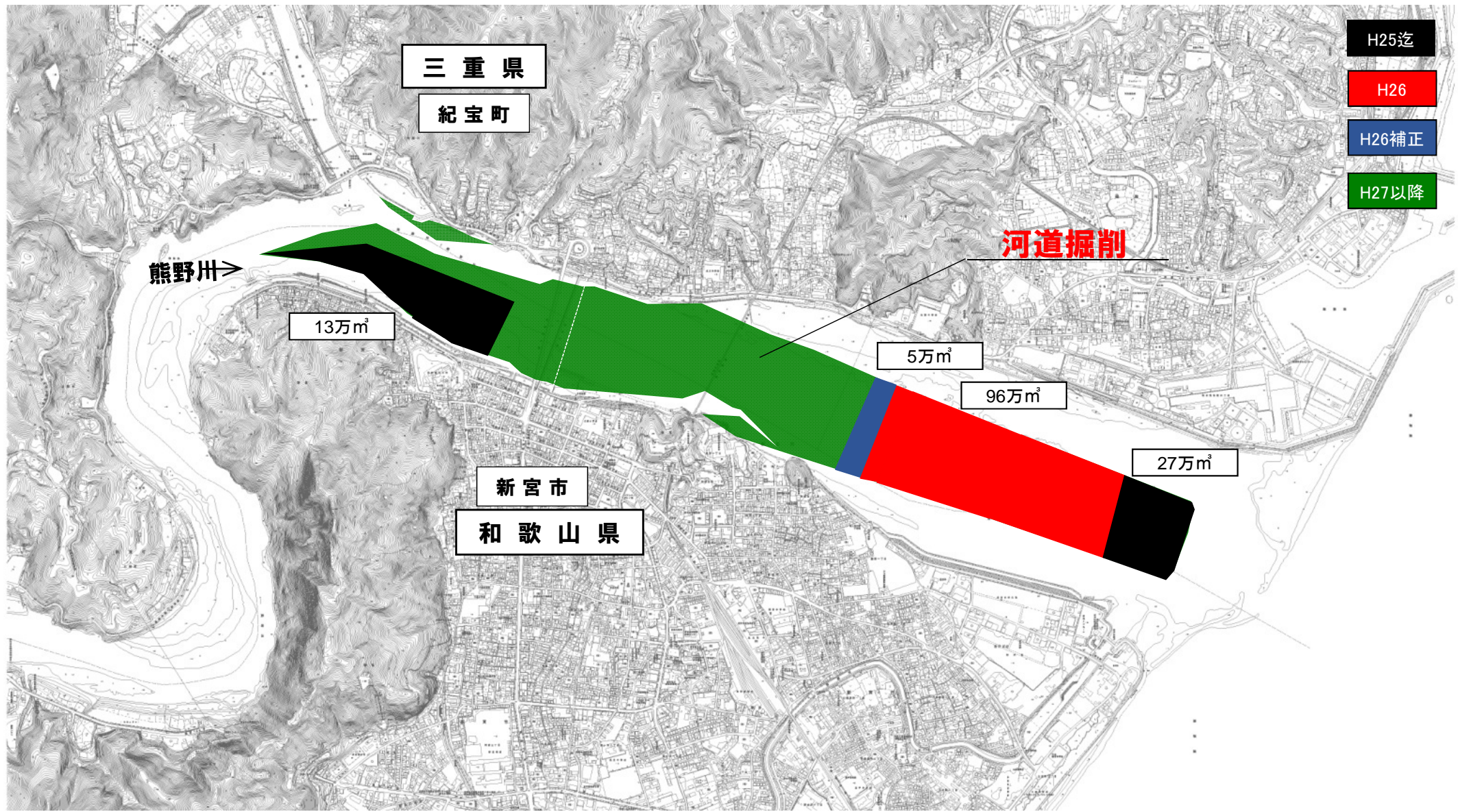
近畿地方整備局

紀南河川国道事務所

# 熊野川激特事業等工程

工事内容		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
激特事業	掘削工 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">根固め工含む</span>						
	築堤工 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">堤防補強含む</span>						
	排水機場耐水化						
	橋梁対策 <span style="background-color: #90EE90; padding: 2px;">JR熊野川橋梁 新熊野大橋の補強</span>						
災害事業	河川管理施設復旧						
	熊野川護岸 等						
	相野谷川輪中堤嵩上げ 等						
改修事業	矢湊地区高潮堤						
	あけぼの地区高潮堤						
	水門・樋門耐震対策						
	光ファイバ・CCTV設置 (津波・浸水対策)						

# 熊野川激特事業実施状況(河道掘削)



# 熊野川激特事業実施状況（河道掘削）

## 掘削状況

H25年度まで : 約40万 $m^3$   
H26年度（2月末現在） : 約85万 $m^3$

H25年10月より稼働



【バックホウ浚渫船】河道掘削状況

H26年10月より稼働



【リクレーマー船】掘削土砂の揚土状況

H26年7月より稼働



【水中ブル】河道掘削状況



位置図

熊野川  
矢漕地区  
あけぼの地区

H26年10月より稼働



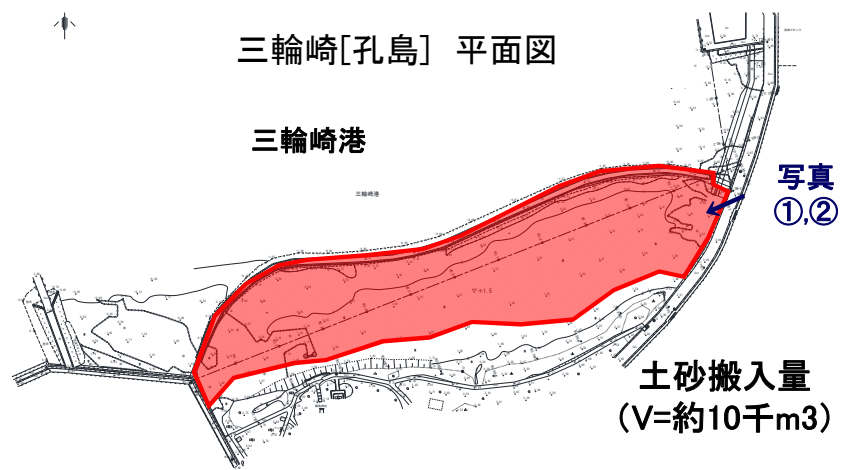
【Grab浚渫船】河道掘削状況

# 掘削土砂の有効活用（七里御浜【<sup>う</sup>どの鵜殿】海岸侵食対策）



# 掘削土砂の有効活用（三輪崎【孔島】海岸侵食対策）

箇所	三輪崎【 <sup>くしま</sup> 孔島】
事業主体	新宮市
内容	侵食が著しい三輪崎海岸等の養浜材として熊野川掘削土砂を有効活用。
搬入量	約10千m <sup>3</sup>



写真① 三輪崎【孔島】(H26.5)



写真② 三輪崎【孔島】(H27.3)



再生した孔島神社前の砂利浜

**三輪崎・孔島の砂利浜を再生**  
 国交省が熊野川掘削土砂を搬入

新宮市三輪崎の孔島（くしま）で、砂利浜再生工事が完了し、国土交通省が掘削土砂を搬入して、海岸を再生させた。近年相次ぐ台風襲撃で、熊野川下流の河川が氾濫し、河床が上昇している。国交省は、河川改修に伴って発生する掘削土砂の有効活用として、この工事を実施している。再生した砂利浜は、観光資源としても活用される見込みだ。

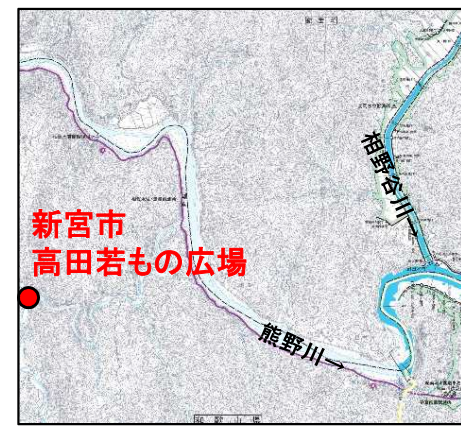
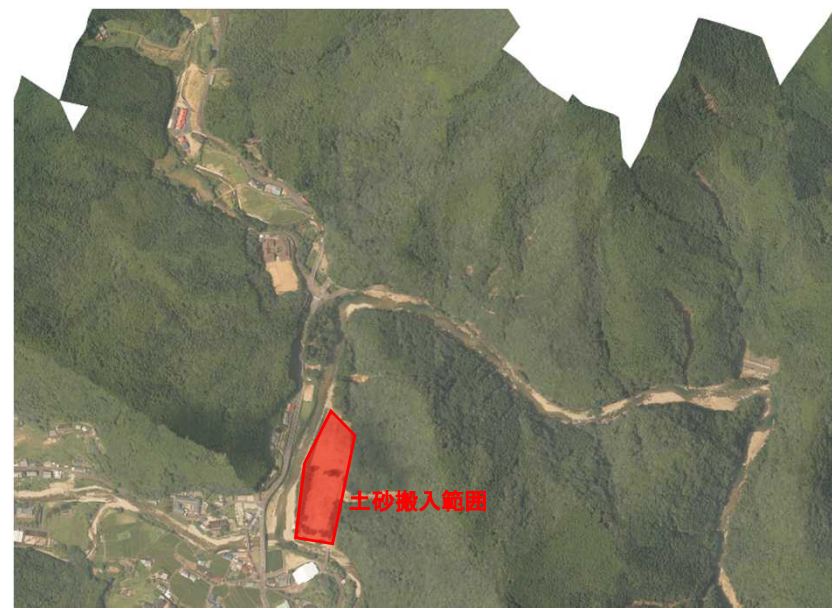
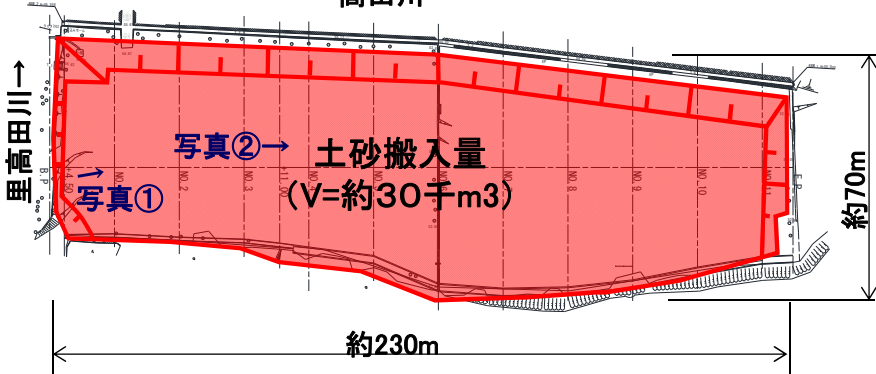
平成27年3月13日  
 (紀南新聞)



# 掘削土砂の有効活用（新宮市 高田若もの広場復旧）

箇所	新宮市 高田若もの広場
関係機関	新宮市
内容	台風12号で被災した広場の復旧材として熊野川掘削土砂を有効活用。
搬入量	約30千m <sup>3</sup>

高田若もの広場 平面図  
高田川→



平成27年1月21日  
(紀南新聞)

熊野川掘削土砂で盛り土  
**高田若もの広場を復旧**  
テニス大会・合宿誘致の場に

新宮市は、熊野川掘削土砂を有効活用し、高田若もの広場の復旧を進めている。この広場は、平成26年台風12号の被害で被災し、現在は土砂の搬入作業が行われている。市は、この土砂をテニス大会や合宿の誘致に活用し、地域の活性化を図りたいとしている。



写真① 高田若もの広場(H26.4)



写真② 掘削土砂の搬入状況(H27.3)



平成27年3月

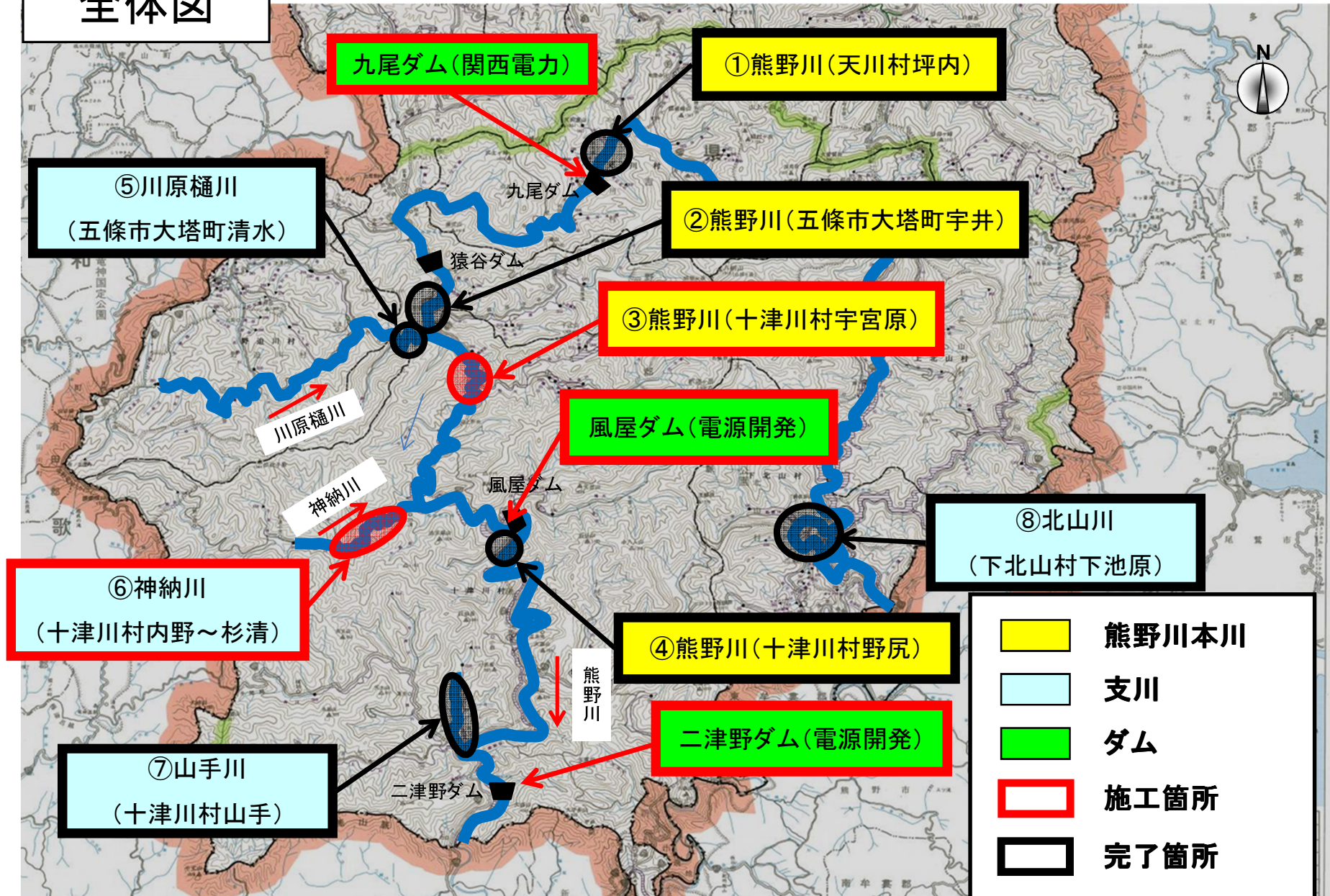
# 堆積土砂対応の状況について

奈良県 県土マネジメント部 河川課

# 1. 堆積土砂撤去の進捗状況

(奈良県・電源開発・関西電力・国土交通省)

## 全体図



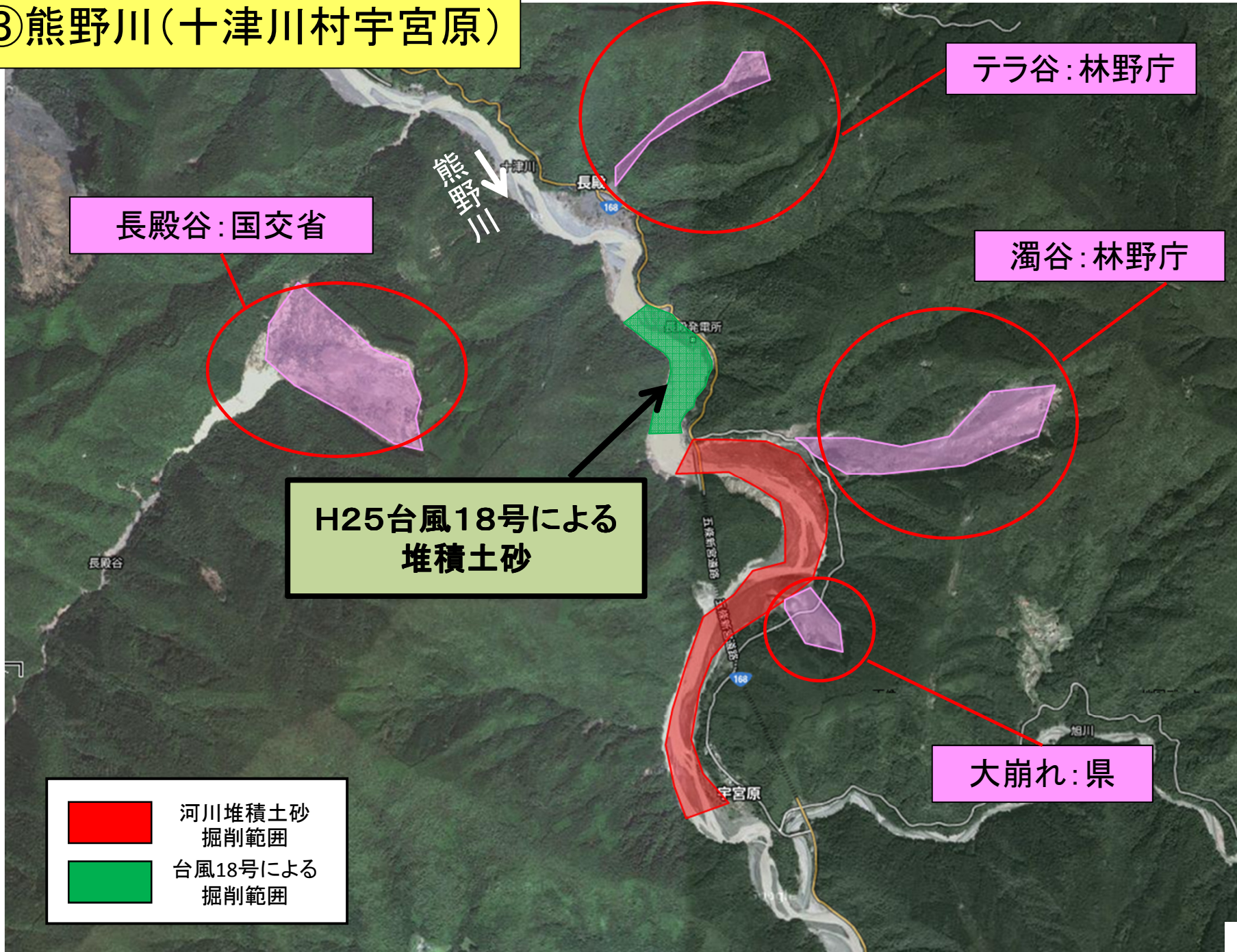
# 堆積土砂撤去 工程表(奈良県施行分)

河川名	箇所	撤去土砂量	H23	H24	H25	H26	H27
熊野川	① 天川村 坪内 (つぼのうち)	H23 8万m <sup>3</sup>	■ 完了				
	② 大塔町 宇井 (うい)	H23 47万m <sup>3</sup>	■	■	■	完了	
	③ 十津川村 宇宮原 (うぐはら)	H23 112万m <sup>3</sup>		■	■	■	完了
		H25 台風18号分12万m <sup>3</sup>					→
④ 十津川村 野尻 (のじり)	H23 6万m <sup>3</sup>		■	■	完了		
川原樋川 (かわらびがわ)	⑤ 大塔町 清水	H23 14万m <sup>3</sup>		■	■	完了	
神納川 (かんのがわ)	⑥ 十津川村 内野～杉清 (うちの) (すぎせ)	H23 21万m <sup>3</sup>			■	■	完了
		H25 台風18号分18万m <sup>3</sup>					→
		H26 台風11号分9万m <sup>3</sup>					■ ■
山手川 (やまてがわ)	⑦ 十津川村 山手 (やまて)	H23 4万m <sup>3</sup>	■	■	完了		
北山川	⑧ 下北山村 下池原	H23 9万m <sup>3</sup>	■	■	完了		
23年災害は今年度完了 26年災害は引き続き実施				全体	85%	100%	
				(H25台風18号分は除く)			

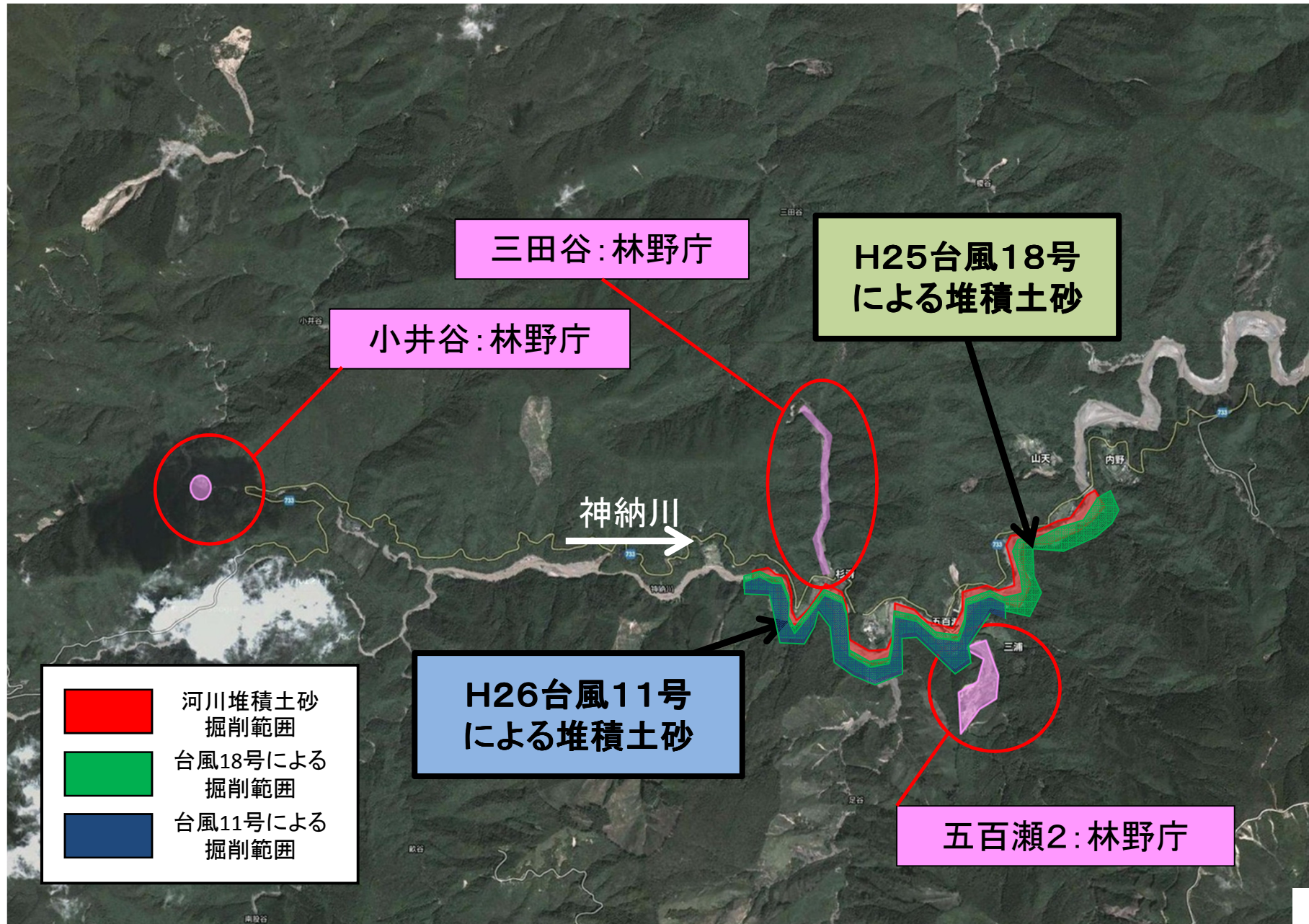
平成27年度  
完了予定

平成27年度  
完了予定

### ③熊野川(十津川村宇宮原)

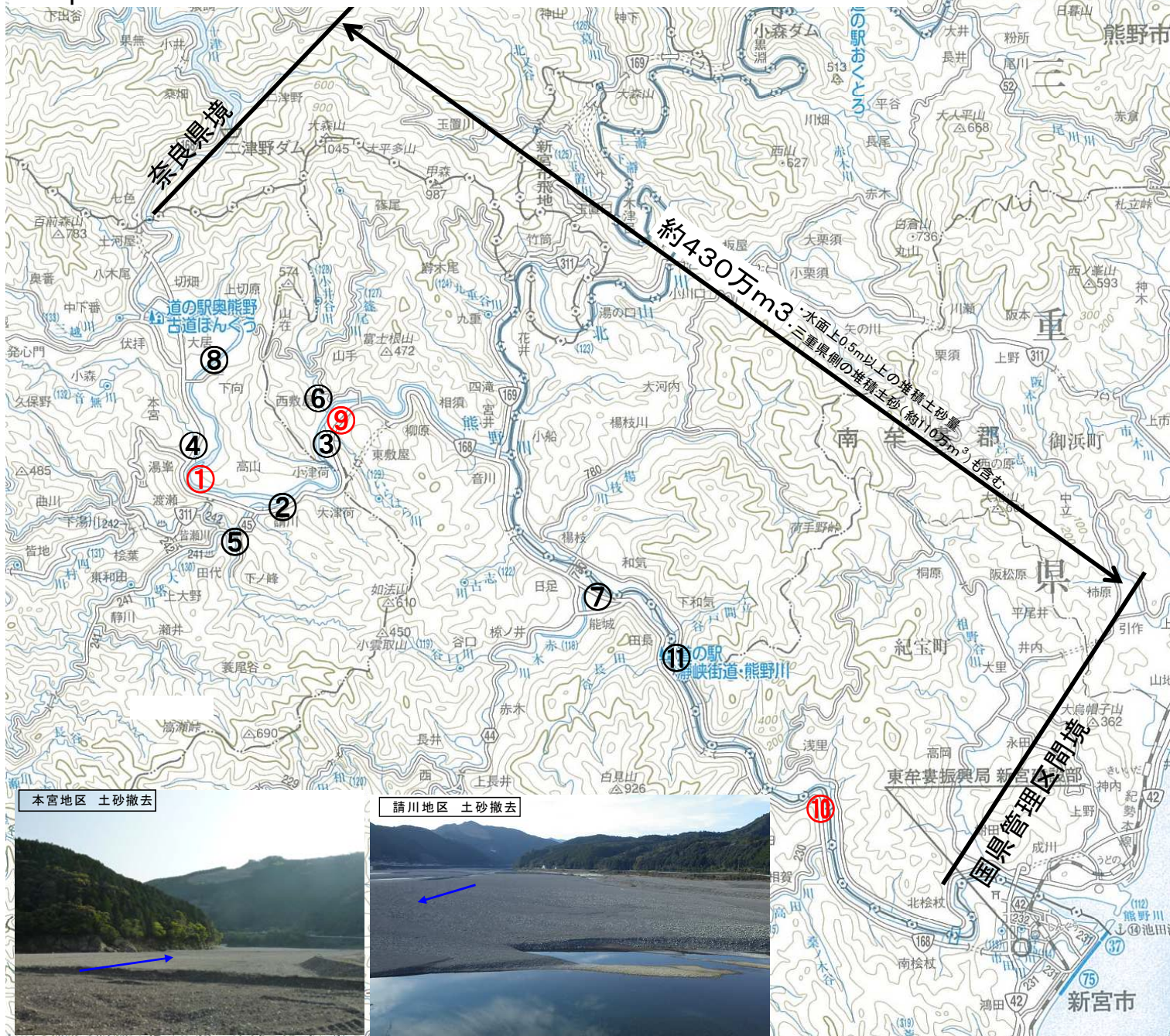
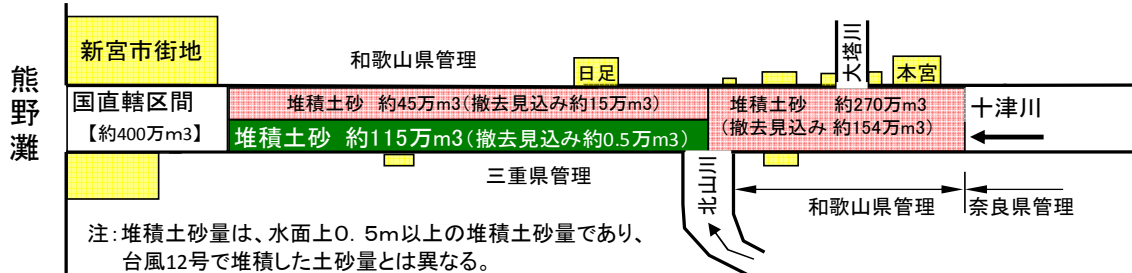


## ⑥神納川(十津川村内野～杉清)



# 河道内堆積土砂対応状況【和歌山県】

平成27年3月現在

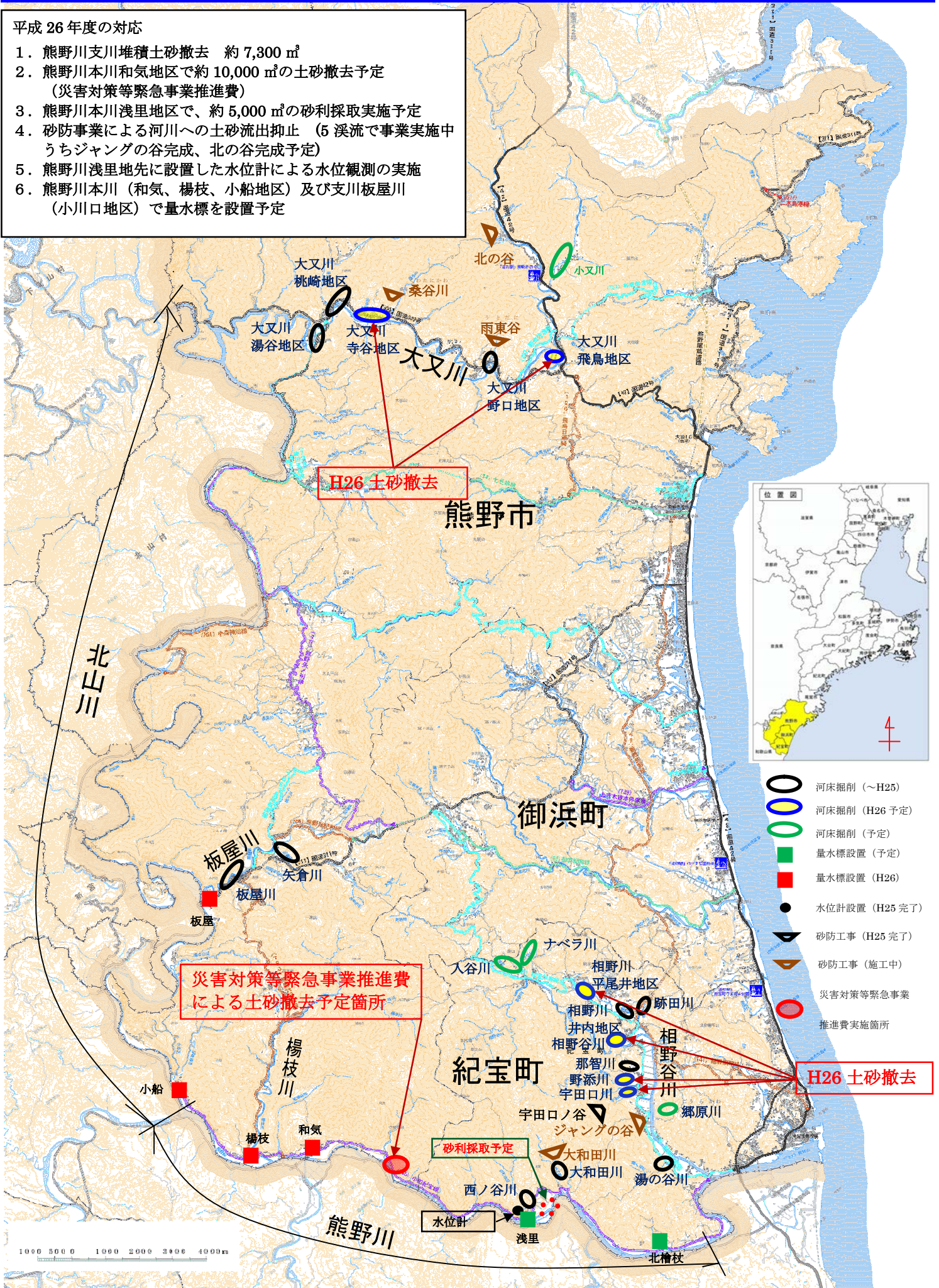


NO	河川名	地区名	工事名	実施主体	H25まで	H26掘削量	H27予定箇所	総掘削量	計画年度
①	熊野川	田辺市 本宮地区	水防災	県	約 16万m <sup>3</sup>	約 10万m <sup>3</sup>		約 40万m <sup>3</sup>	~H28
②	熊野川	田辺市 請川地区	20条工事	県	約 30万m <sup>3</sup>	約 14万m <sup>3</sup>		約 44万m <sup>3</sup>	H24~H26
③	熊野川	新宮市 東敷屋	一般採取	民間	約 2万m <sup>3</sup>	—	—	約 2万m <sup>3</sup>	~H24
④	音無川	田辺市 一本松地区	国災	県	約 1万m <sup>3</sup>	—	—	約 1万m <sup>3</sup>	完了
⑤	大塔川	田辺市 川湯地区	県災	県	約 6万m <sup>3</sup>	—	—	約 6万m <sup>3</sup>	完了
⑥	篠尾川	新宮市 西敷屋	県災	県	約 1万m <sup>3</sup>	—	—	約 1万m <sup>3</sup>	完了
⑦	熊野川	新宮市 日足地区	推進費	県	約 7万m <sup>3</sup>	—	—	約 7万m <sup>3</sup>	H24繰
⑧	熊野川	田辺市 大居地区	推進費	県	約 20万m <sup>3</sup>	—	—	約 20万m <sup>3</sup>	H24繰
⑨	熊野川	新宮市 東敷屋	一般採取	民間	約 5万m <sup>3</sup>	約 1万m <sup>3</sup>		約 40万m <sup>3</sup>	概ね5年間
⑩	熊野川	新宮市 相賀	一般採取	民間	—	約0.6万m <sup>3</sup>		約 3万m <sup>3</sup>	概ね5年間
⑪	熊野川	新宮市 日足地区	推進費	県	—	約 5万m <sup>3</sup>		約 5万m <sup>3</sup>	H26
合計					約 88万m <sup>3</sup>	約 31万m <sup>3</sup>		約 169万m <sup>3</sup>	

# 新宮川水系の治水対策対応状況【三重県】 H27.3.24

平成 26 年度の対応

1. 熊野川支川堆積土砂撤去 約 7,300 m<sup>3</sup>
2. 熊野川本川和気地区で約 10,000 m<sup>3</sup>の土砂撤去予定  
(災害対策等緊急事業推進費)
3. 熊野川本川浅里地区で、約 5,000 m<sup>3</sup>の砂利採取実施予定
4. 砂防事業による河川への土砂流出抑止 (5 溪流で事業実施中  
うちジャングの谷完成、北の谷完成予定)
5. 熊野川浅里地先に設置した水位計による水位観測の実施
6. 熊野川本川 (和気、楊枝、小船地区) 及び支川板屋川  
(小川口地区) で量水標を設置予定





電源開発株式会社  
西日本支店

## 堆積土砂の対応状況について（ダム 電源開発(株)西日本支店）

十津川筋（風屋貯水池・二津野調整池）堆砂処理計画・実績

（単位：千 m<sup>3</sup>）

処理地点	平成 23 年度 実績	平成 24 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 26 年度		平成 27 年度 計画	備考
				計画	実績 <sup>※2</sup>		
風屋貯水池	0	189	138	100	130	110	神納川
二津野調整池	92	395	270 <sup>※1</sup>	200	241 <sup>※1</sup>	192	本川、西川他
計 (進捗率)	92	584	408	300	372 (124%)	302	

※1 浚渫試験施工分を含む

※2 平成 27 年 2 月末時点実績（四捨五入の関係で計が一致しない場合がある）

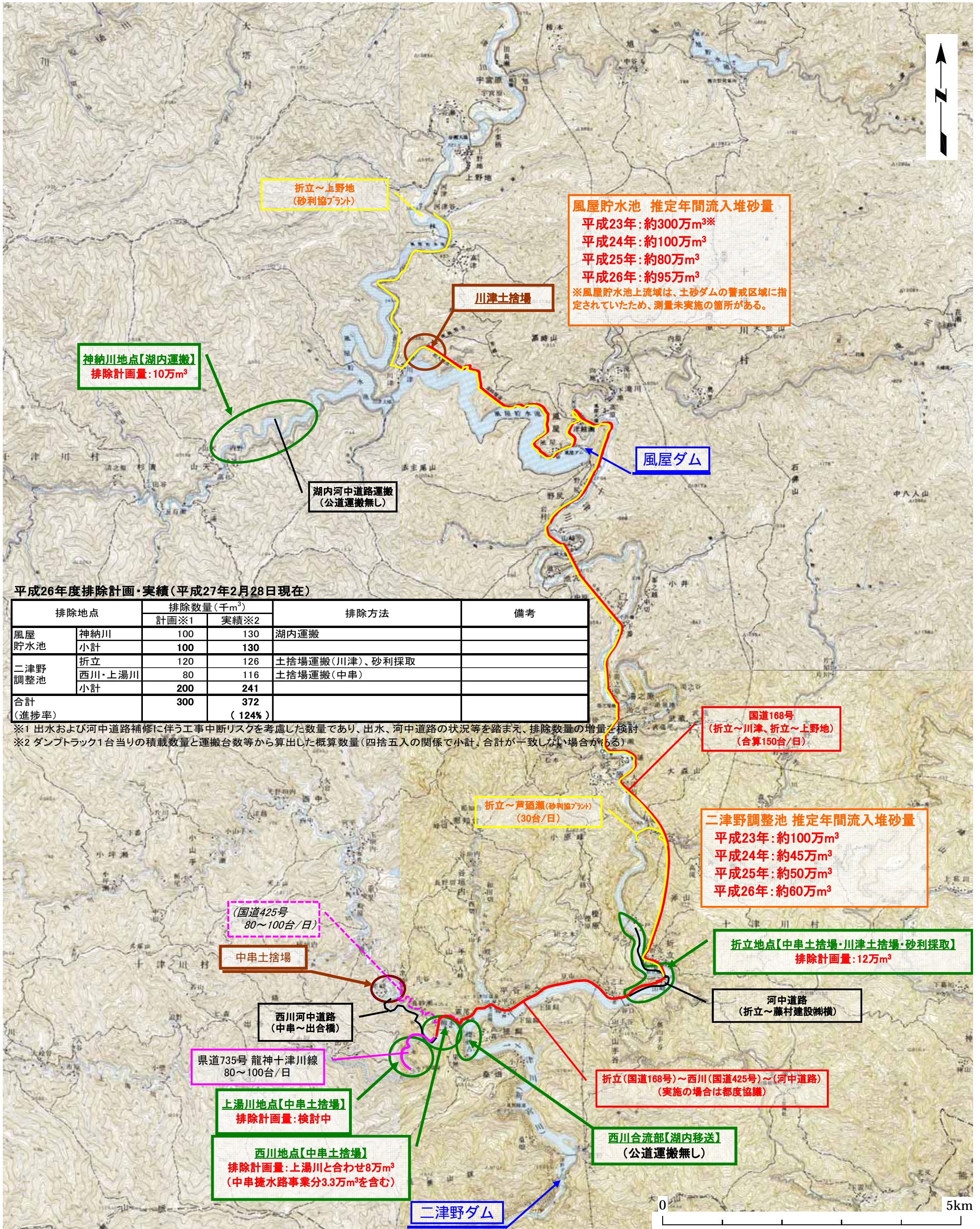
北山川筋（池原貯水池）堆砂処理計画・実績

（単位：千 m<sup>3</sup>）

処理地点	平成 23 年度 実績	平成 24 年度 実績	平成 25 年度 実績	平成 26 年度		平成 27 年度 計画	備考
				計画	実績 <sup>※</sup>		
池原貯水池 (進捗率)	20	20	4	7.2	7.2 (100%)	堆砂測量結果を踏 まえ、河川管理 者・地元と協議	本川背水終端部

※ 平成 27 年 2 月末時点実績

# 平成26年度 十津川筋(風屋貯水池・二津野調整池)堆砂排除計画・実績



**風屋貯水池 推定年間流入堆砂量**  
 平成23年: 約300万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>※  
 平成24年: 約100万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成25年: 約80万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成26年: 約95万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 ※風屋貯水池上流域は、土砂ダムの警戒区域に指定されていたため、測量未実施箇所がある。

**二津野調整池 推定年間流入堆砂量**  
 平成23年: 約100万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成24年: 約45万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成25年: 約50万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 平成26年: 約60万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

平成26年度排除計画・実績(平成27年2月28日現在)

排除地点	排除数量(千 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )		排除方法	備考
	計画※1	実績※2		
風屋貯水池				
神納川	100	130	湖内運搬	
小計	100	130		
二津野調整池				
折立	120	126	土捨場運搬(川津)、砂利採取	
西川・上湯川	80	116	土捨場運搬(中串)	
小計	200	241		
合計 (進捗率)	300	372 (124%)		

※1 出水および河中道路補修に伴う工事中断リスクを考慮した数量であり、出水、河中道路の状況等を踏まえ、排除数量の増量を検討  
 ※2 ダンプトラック1台当りの積載数量と運搬台数等から算出した概算数量(四捨五入の関係で小計、合計が一致しない場合がある)

国道168号  
 (折立～川津、折立～上野地)  
 (合算150台/日)

折立～芦沼瀬(砂利協プラント)  
 (30台/日)

(国道425号  
 80～100台/日)

折立地点【中串土捨場・川津土捨場・砂利採取】  
 排除計画量: 12万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>

河中道路  
 (折立～藤村建設橋)

折立(国道168号)～西川(国道425号)～(河中道路)  
 (実施の場合は都度協議)

県道735号 龍神十津川線  
 80～100台/日

上湯川地点【中串土捨場】  
 排除計画量: 検討中

西川合流部【湖内移送】  
 (公道運搬無し)

西川地点【中串土捨場】  
 排除計画量: 上湯川と合わせ8万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>  
 (中串捷水路事業分3.3万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>を含む)

二津野ダム

